

# [dōnk]

DONC どんく

発行

三重日仏協会

SOCIÉTÉ FRANCO-JAPONAISE DE MIE

事務局 津市東丸之内21-4 オーデンビル

3F / Siege : Oden Building 21-4

Higashi Marunouchi Tsu JAPON

N° 47 janvier 1999 SOCIÉTÉ FRANCO-JAPONAISE DE MIE

〈日本におけるフランス年〉記念事業Ⅱ

## 演奏会 みえ・にちふつの音楽家たち

今年度定期総会で不確実な形で二案提案した〈日本におけるフランス年〉の記念事業が両方とも実現することになりました。

昨秋の『プロヴァンス展』の成功に続いて、2月26日津市で演奏会『みえ・にちふつの音楽家たち』を開催します。

これは三重日仏協会の会員でこの地方の第一線で演奏や教育に活躍され、常々それぞれ独自にリサイタルなどを開いておられるすぐれた音楽家たちに、〈日本におけるフランス年〉も終盤の一夜、一堂に会して競演していただき、音楽の分野でも三重日仏協会の存在を広くアピールしようという企画です。

出演者はピアニストの大廣朋子さん、菅原美枝子さん、針谷宏弥さん、ソプラノの針谷斐子さんの4会員と、賛助出演者に小川剛（セロ）、北住淳（ピアノ）の両氏を迎えます。

選曲も意欲的で魅力あふれるコンサートです。会員の皆さんのご来聴はもちろん、周りの方へのご吹聴をお願いいたします。

〈日本におけるフランス年〉記念演奏会

### みえ・にちふつの音楽家たち

主催 三重日仏協会 後援 三重県国際交流財団

1999年2月26日（金）6：45p.m 津リージョンプラザお城ホール

入場券 2,000円（全自由席） 出演音楽家、およびスタッフからお求めください。

1999年度総会の予定 7/11（日）

新年度総会は7月11日（日）午後、津市のプラザ洞津で開催します。記念講演には、大阪大学の柏木隆雄教授（フランス文学・松阪市出身）を迎え、ことし生誕200年となるバルザックにまつわるお話をお願いする予定です。

# 『太陽の地プロヴァンス・日本展』に726人の来場者

美術を通して新しい日仏交流の輪



三重日仏協会主催〈日本におけるフランス年〉記念事業『太陽の地プロヴァンス・日本展』……南フランスの新進芸術家たち……は11月3日から8日まで三重県立美術館で開催されました。この展覧会のためプロヴァンス地方よりシモン・ニコラエヴィッチ・ギャラコフ氏（形成芸術家）とアルランディス氏（画家）夫妻が、同地方の6人の中堅・気鋭の芸術家の作品計41点を伴って来県、三重県の画家6人の「友情展」作品12点とともに県民ギャラリーいっぱいの大規模な展示となり、芸術的にも質の高いものとなりました。会場には初日から多くの来場者があり、5日間で計726人が受付で記帳のうえ、熱心に鑑賞されました。実際の入場者数はさらにそれを上回るものと思われる。

3人のフランス人は会員宅や「ホームステイ・イン津」のメンバーのお宅にホームステイして日本の家庭とのふれあいをもちたほか、忙しい展覧会の仕事の合間をぬって、精力的に日本の文化に接し、また地元美術関係者や三重日仏協会メンバーたちとの交流を深めました。

## 来観者芳名帳にそえられた一首

フランスに行きたることのなきわれも

今日 南仏に遊びてすごす 小出幸三（津市）



11/3の開幕日は県立美術館主催の『ブラック回顧展』の開幕と重なり、アラン・ナウム仏総領事が来賓として招かれました。総領事は『プロヴァンス展』もていねいに鑑賞され、また、武村会長夫妻をはじめ三重日仏協会メンバーと親しく懇談されました。

### ユリコさん大活躍

『プロヴァンス展』のフランス側の主催者(EDET協会)の一員である世古由里子さん(三重県出身・エクス在住)は、今回3人のフランス人とともに来日、作品の日本への持ち込み、展示準備、通訳などで大活躍し、展示会の成功に貢献しました。ただ、超多忙の日程のため久しぶりの里帰り(海山町)もそこそこに、会期中の5日には次の仕事がつぱりへ。ご苦労さまでした!

マルセイユの画家アルランティス氏は、南欧人らしい明るさと活力でエネルギッシュに活躍しましたが、『友情出展』者の一人、月輪清氏(県立津高校教諭)の依頼で同高校の美術の授業に『応援出演』し、油絵の実技を披露しました。その模様取材した11月13日付け中日新聞。

# 画面にあふれるプロの迫力

フランスの画家 アルランディ夫妻 津高校の美術授業へ



生徒たちの前で、実際に人物画を描いてみせるアルランディさん(手前) 津市の津高校で

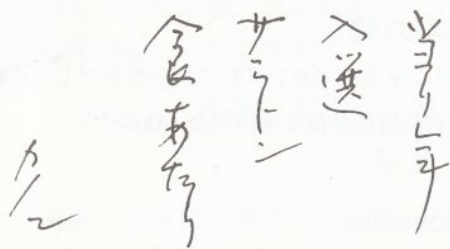
## 人物画制作に生徒が熱い視線

この日、アルランディさんは、美術を選択している一年生三人が自画像のデッサンをしている様子を見学した後、生徒たちを前に人物画を制作した。生徒たちは、月輪教諭の解説を聞きながら、三十分余りの作業の間、ずっと無言で、制作手順やパレットナイフの動き、絵の具の混ぜ方などに注目していた。月輪教諭「美術で外部の人に実演してもらうのは初めて、生徒にも良い刺激になったはずです」と、授業の成功を喜んでいた。

## パリの1月はガレット galette des Rois で

亀井カノン (在パリ)

パリの1月の菓子屋 Pâtisserie にはガレット galette (円形の平たい菓子)があふれる。主の御公現(1月6日)の



祝菓であるが、教会へ行かない人もこれを食べる。一見平凡な焼菓子であるが、中に指先程の小さな人形(昔は空豆)が一個潜んでいる。santon の類で Provence の陶製である。人形の姿は、例えば(図左から、実物大)魚屋、清掃夫、帽子のお針子、サッカー選手等々多彩で、毎年新人が話題になる。昨年はイヴ・モンタンが加わった。さて、卓に集い、人数に切り分けて食べる。さあ誰の口に入形が入ったか。その人がこの一座の王・女王となり、カップルに好みの相手を所望できる。ユーモラスな仮想劇に笑いの渦がひろがって行く。やがて抱腹絶倒の余り、王・女王の権威は著しく失墜することしばしばである。王権批判の近代のお遊びかと思ったら、もっと古く、12世紀のイル・ド・フランスで始まっているという。さすがに歴史の国である。

(編集部注) 筆者は高校教諭退職後、97年春渡仏。モンパルナスに住んでパリの四季の風物とルーヴルの彫刻などの展示品のスケッチに全力を注いでおられます(「年間千点」とのこと)。それに彩色、ご自身の作句を添えたハガキ大の作品は先の「プロヴァンス展」に友情出展され大好評でした。三重日協会員。

## 11月7(土) 8(日) 『みえ歴史街道フェスタ』に三重日仏協会の店

10月10日に開幕された三重県のイベント『みえ歴史街道フェスタ』は、「斎王夢行列」が伊勢市に到着した11月8日にグランド・フィナーレを迎えましたが、その前日からの二日間、県営サンアリーナで三重県各地の物産を中心とした大バザールなど多彩な催しが繰り広げられ、10万人以上(主催者発表)の入場者がありました。このなかの「国際街道」には三重県国際交流団体連絡会に加入している多くの組織がさまざまな形で参加しましたが、三重日仏協会もフランスの食文化を紹介する意味で、会員のご協力を得てパンとワインの店を出展し好評を得ました。(写真)



## フランス総領事館が移転

在大阪・神戸フランス総領事館(経済商務部、産業開発局ともに)は、去る12月14日、長年の「大林ビル」から下記に移転した旨、事務局に通知がありました。

新住所 540-6010 大阪市中央区城見1-2-27 クリスタルタワー10階

電話 ダイヤル・インになっていますが 代表 06-4790-1500

## 1/5(火)~2/14(日) かたちびと——島田章三展

三重県立美術館 観覧料 一般 700円(1/17「家庭の日」は入館無料)

なお1月23日(土)午後2時から同館講堂で、島田章三氏の講演があります(聴講無料)

## 1/23(土) 三重優秀映画鑑賞会例会「ユリシーズの瞳」

テオ・アングロプロス監督作品(1995年/フランス・イタリア・ギリシャ合作/カンヌ映画祭グランプリ受賞作)

津市・お城ホール 会員制(入会金1,000円 会費1,000円 三重日仏協会会員は優待料金1,000円)

## 1/31(日) 津シネマ・フレンズ「ポネット」(Ponette)

ジャック・ドワイヨン監督作品(1996年・フランス)

津市・お城ホール 当日1,600円 前売り1,300円

## 3/26(金) 6:30 「フランス近代のエスプリ」…パリの薫り… 演奏会

主催 MUSAION 演奏企画

出演者 富永幸代、松谷尚子、針谷宏弥、レア・真由美、小柴雅子、加藤慧子

曲目 ドビュッシー、フォーレほかフランス近代のピアノ、ヴァイオリン、声楽曲

津市 お城ホール 入場料1,000円

(三重日仏協会後援事業)